

錦江湾を望む日本一小さな礼拝堂



このたび松下美術館より北東側の山手の十字架の見える寒山公園に“錦江湾を望む日本一小さな礼拝堂”を建設しました。

きっかけは父 松下兼知が終戦後間もない昭和 34 年にヨーロッパを旅行し、特にイタリア サレルノの山手に十字架が建てられている風景を見てそのすばらしさに感動し、四季折々の美しい自然の中で錦江湾に入日する太陽の光のあかあかと映えるこの寒山公園（寒山は松下兼知の号）に十字架を建立しておりました。そして 40 年くらい前に霧島市福山麓にあった松下家の本宅が使われなくなったために、それを教会に改修しその場所が賑わうようにと思ったのでしょうか、鹿児島市にあるセブンスデー・アドベンチスト教会（プロテスタント）と 99 年にわたる契約を父は結び、その後信者の方々が訪れておられました。しかしその場所は裏山がせまり、また前は崖のために以前より山崩れなどが何回もあり、小生にとりましては信者の方々にもしものことがあったらという危惧から断腸の思いでその契約を解約していただいております。

今回その福山の教会にあったステンドグラスを利用しそしてマリア像を購入し、十字架の建っている場所に“錦江湾を望む日本一小さな礼拝堂”を建設しました。本当に小さな小さな礼拝堂ですが、ここを訪れる人がここで祈りをするにより、少しでも心の安らぎをえることができたらと願っております。

松下兼介



- ・松下美術館より車で約 10 分
- ・宮浦宮から 3.5km (8 分)：宮浦宮の交差点を牧之原方面へ約 2km のところの急なカーブから右折、約 1 キロ進む (お立ち寄りの際は松下美術館へご連絡ください)

松下美術館 TEL:0995-55-3350

